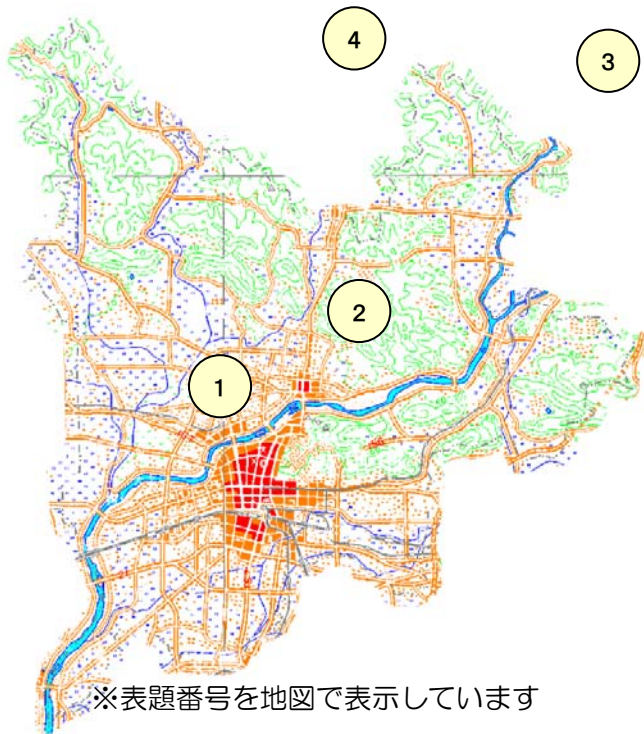


岐阜市自然・環境活動ニュース

2010年11月号

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとする誇るべき自然環境が多くあります。その一方で、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備などにより貴重な自然環境が減少している事実があります。そのような現状の中、今一度岐阜市の自然環境を見つめ直し、私たちの財産として、自らの手で素晴らしい自然環境を次代へ引き継ぎましょう。

岐阜市の自然や環境活動の情報を「岐阜市自然・環境活動ニュース」としてお伝えします。



※表題番号を地図で表示しています

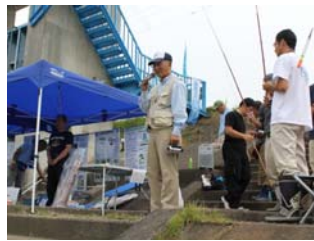
①「特定外来魚駆除実験 in 長良川」開催報告

10月3日(土)に長良川の支川である伊自良川(正木排水機場前)で、木曾三川フォーラムの主催で特定外来魚の駆除実験が行われました。

フォーラムメンバーが岐阜市長良雄総、長良川右岸の河川敷にある水路を調べたところ、ブラックバスやブルーギルなどの外来魚が見つかりました。また、国土交通省の国勢調査でも、長良川をはじめ木曾川・揖斐川で広範囲にわたって外来魚が確認されています。

今回の駆除実験は、豊富な淡水魚が生息する自然豊かな環境を守るため、外来魚の「駆除」や「拡大の防止」の対策への取り組みです。

当日は、木曾三川フォーラムのメンバー、木曾川上流河川事務所、岐阜県、岐阜市の職員その他、地域の小



学生や岐阜市内で活動している市民団体の方々もたくさん参加されました。

外来種問題に詳しい岐阜大学の向井先生からは特定外来魚の説明もありました。

今後、木曾三川フォーラムでは、11月17日に加茂川太郎丸池で駆除実験、12月11日に岐阜市文化センターで「特定外来生物移入防止研修会」を開催するそうです。



②「どんぐりコマ回し大会」開催報告

10月17日(日)にながら川ふれあいの森で「どんぐりコマ回し大会」が開催されました。NPO法人ぎふし森守クラブの主催で、今年で第9回目です。

ながら川ふれあいの森で拾ったどんぐりでコマを作り、コマ回しのタイムを競います。ジュニア・シニア・アダルトの3部門に分かれています。

始めにぎふし森守クラブの川瀬さんの紙芝居で自然環境について学びました。

次にコマづくりです。どんぐりは一つ一つ、大きさや形が異なります。どんなどんぐりが良く回るか考えてどんぐりを選びます。

いよいよ本番です。大人も子どもも自慢のどんぐりコマで、どれだけ長い時間回し続けられるかを競い合いました。結果発表です！たくさん回せた人は、森守クラブ、中日新聞社から表彰されました。おめでとうございます。



当日はこの他にも、竹馬乗り、ケロケロカエル作り、クラフト作り、丸太切り、カスタネット作り、ストラップ作り、パタパタ板作りなど様々なコーナーもあり、イベントは大盛況でした。

③「子どもの森の健康診断 & サツキマスの産卵観察会」開催報告

10月24日(日)に長良川流域子ども協議会主催の「子どもの森の健康診断& サツキマスの産卵観察会」が、郡上市初音の人工林(市有林)と吉田川で開催されました。岐阜市からも5名の小学生が参加しました。

人工林では、「長良川流域森の健康診断実行委員会」の小森さんから、人工林の話や郡上の森の話をしていただきました。森の健康診断は、人工林の健康度を林内の植生や混み具合を、文房具などの身近な道具を利用して調査するもので、今回は、子供版のマニュアルに沿って土壌調査、植生調査、混み具合調査を行いました。



子どもたちも、学校での学習や自然体験などを通じ、日本の人工林の現状を知識として知ってはいますが、実際の人工林に入り、光の入り具合や土壌の様子、植生の様子、混み具合などを自身の調査とそこから導き出される数値を使って、実感できたと思われます。最後に、間伐をしなればいけない本数から、自分ならどの木を切るかを皆で考えました。

次に、サツキマスの産卵の観察をするため、吉田川へ移動です。吉田川では、毎年10月の第4土曜日に「長良川の水を守る会」の皆さんがサツキマスの産卵観察会を行っています。今回はそれに参加させていただきました。

会のメンバーの方から、サツキマスの生態や長良川・吉田川の近年の変化などの話をお聞きしました。サツキマスの産卵箇所も砂防堰堤や吉田川への土砂の混入の影響から、1箇所しかないことを聞き、サツキマスを通して、川の変化(悪化)の実態を聞くことができました。



川の上からでも、群れになっている産卵行動の様子をうかがうことが出来ましたが、モニターを通して、大写しにな

るサツキマスの産卵行動に観察予定の2時間の間、他の参加者に交じって、モニターの前で、観察を行いました。

実際の産卵は、帰路について30分後でしたが、事前にその様子を動画配信することを聞いており帰ってから自宅で見てもらえたと思われます。

自然の営みを観察できた貴重な体験となりました。自然や環境に興味のある子どもたちの参加ではありませんが、その知識には、驚くべきものがあります。サツキマスの生態についても、ほとんどの子どもたちが把握しており、説明が不要なほどでした。しかし、その知識はインターネットや書籍によるものであり、モニターの前と肉眼で川の様子を交互に観察する子ども達の関心度から、今回のような実際の体験の重要性を深く感じました。

④「長良川文化フォーラム」の活動報告

10月29日(金)に長良川文化フォーラムの平成22年度第1回長良川探訪が、関市板取で開催されました。長良川の文化を育む原点である上流域の森林や自然を学ぶ企画です。53名の参加があり、森の役割を学ぶ座学と森林観察のフィールドワークを実施しました。

まず、板取川の最上流にある川浦溪谷を見学しました。フォーラムのメンバーである森と水辺の技術研究会の野村さんから、川浦溪谷の成り立ちや地質、上流の森林の話をお聞きしました。



次に21世紀の森公園へ移動し、森林インストラクターの川尻さんから「長良川の清流を育む森」についての講演をいただきました。講演後、川尻さんの案内で公園内の株杉を見学しました。



—岐阜市の自然・環境活動に関する問い合わせ—

岐阜市 自然共生部 自然環境課

TEL : 058-265-4141 (内線 : 6451) FAX : 058-267-1374

Email : shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」 <http://gifu-nature.net>